

学校だより

2022.10.3

第7号

# 志こころざし



## なぜ、あいさつするの？

10月に入ったとは思えないような暑さです。気象情報を見ていると、今週後半、一気に気温が下がると言われています。長袖か半袖か、服装選びが難しいところです。また、依然として、コロナ感染症は収束する気配はありません。それどころか、第8波（インフルエンザを伴った）の話も聞こえてきます。10月も陸上記録会に始まり駅伝大会や修学旅行など、行事が控えています。睡眠時間をしっかりと確保し、強い体づくりに心がけ元気に過ごしてくれるよう願っています。

さて、今朝、朝の集会で「あいさつ」について話をしました。その前に、「あいさつは、なぜするのか。」を子どもたちに考えてもらいました。「あいさつすると気持ちがいいから。」「あいさつすることで人と繋がるから。」……。今から25年前。世間を震撼させた事件が起きました。神戸市須磨区で起こった「神戸児童連続殺傷事件」です。猟奇的な犯行だったり警察をあざ笑うかのような声明文を出したりと、社会に挑戦的な犯人が14歳の現役中学生だったことに衝撃を受けたことを覚えています。その時、被害者となった女兒は、「どこか手を洗うところはないですか。」と聞かれ学校に案内し「お礼をしたいから。」ということで後頭部を殴られ命を落としました。親切にしたことが仇となったわけです。「知らない人には、むやみに声をかけない。」「怖そうな人でなくても、外見では悪い人かは分かりません、知らない人には近づかない。」などと、担任していた子どもたちに話したことを覚えています。それから長い時間が経過し、「知らない人に声をかけない」ということより、「自分からあいさつしよう。」と話すようになりました。その中で起こったのが「新型コロナウイルス感染症」でした。「人との会話は慎みましょう。」「黙食」「ソーシャルディスタンス」など、人との距離を確保することはばかりに意識が向いたように思います。

先月末29日（木）、6年生が「鯖街道第3弾」（久多～京都出町柳）に挑戦しました。見事、踏破を果たし京都の出町柳商店街に到着しました。夕方の忙しい時間帯でしたが、多くの方々が店先に顔を出し、拍手で6年生たちを迎えてくれました。「おめでとう。」「ありがとうございます。」と商店街の方々とあいさつを交わす様子を見てみると、温かな空気が周囲に満たされていくように感じました。「なぜ、あいさつをするのか。」もし、子どもたちに聞かれたら、私は、「みんなが、幸せになるから。」と答えると思います。学校はもちろんですが、各ご家庭や地域でも、あいさつがあふれるようにと思います。6日に3年ぶりの陸上記録会が行われます。他校の先生方や仲間たちに、多くのあいさつを交わせることと期待しています。



くす玉でお出迎え！

# — 体育大会・応援ありがとうございました！ —

9月17日（土）。無事に体育大会を開催することができました。多くの皆様に応援いただき、誠にありがとうございました。「完全燃焼—新時代をつくりだせ—」のスローガンのもと、6年生を中心に「子どもたちによる子どもたちの体育大会」となりました。「昔の我々の体育大会とは違うなあ。子どもたちが自分たちで考えてやっとなんかという感じがするわ。」とある来賓の方の言葉が心に残っています。半日開催も今回で3回目となりました。このスタイルで継続していくのかは、子どもたちや教職員と検証していく必要を感じています。



内外海小HP